

近畿



182号



【晩秋のイチョウ並木（心齋橋付近）】

記憶の中のイチョウ並木は、車道や歩道を覆うほどに生い茂り、その光景は圧倒的でした。路上に幾重にも重なる落葉や銀杏の実など、その臭いも含めて大阪の風物詩でした。最近では、すっかり管理が行き届き、落葉や銀杏の実は頻繁に清掃され、路上にはみ出た枝を気にすることもなくなりました。今やイチョウ並木は近代的なビル群とすっかり調和しているように映ります。イチョウが散ったあとの御堂筋は、イルミネーションの季節となります。

長坂 富雄（上下水道）

目 次

[項 目]	[執筆者]	[頁]
表 紙 晩秋のイチョウ並木 (心齋橋付近)	長坂富雄	1
巻頭言 技術士二次試験合格祝賀会に参加して	加藤賢次	3
近畿本部/支部 報告・予告		
理事会だより (2021-No. 3)	藪内生死	4
2021 年度第 3 回役員会議事録 (案)	田岡直規	8
技術士 (CPD 認定) 制度がスタート!	「きんき」編集室	10
部会/活動グループ 報告・予告		
近畿本部 建設部会	甘利哲夫・岡 千裕	11
近畿本部 上下水道部会	中村秀人	14
近畿本部 関西食品技術士センター	戸口昌俊	17
近畿本部 機械システム部会	村上禮三	18
近畿本部 技術士業務研究会	三木茂男	22
近畿本部 経営工学部会	北川昭浩	24
近畿本部 ISO 研究会	竹内修治・村上禮三	26
近畿本部 化学部会	伊藤雄二	27
近畿本部 情報工学部会	野原英則・本多利行	28
技術解説		
エコカーのおさらい	木藤 茂	30
編集室だより		
みなさんの原稿大募集	「きんき」編集室	23
11-12 月行事予定	「きんき」編集室	32
編集後記	木藤 茂	32

技術士二次試験合格祝賀会に参加して



近畿本部 副本部長 加藤 賢次（建設/総監）

2021年度近畿本部役員会でのご推薦を受け、近畿本部副本部長を拝命致しました加藤と申します。

私自身、これまで技術士会への参加は希薄でしたが、これを機に技術士会を深く知るとともに、少しでも会員の皆様のお力になれるよう、企画運営等に励む所存です。

さて、今年8月、東京オリンピック開催の真っ只中、近畿本部で開催されました合格祝賀会に、はじめて参加いたしました。新型コロナウイルスの影響で、全面リモートでの開催となり、本来であれば名刺交換や懇親会等で活発な交流ができたところ、いささか残念ではありましたが、17名の新人技術士の参加をいただきました。合格祝賀会に参加して、オリンピックを横目に、思うところを、僭越ではありますが、述べさせていただきます。

資格取得は技術者としてのスタートライン

祝賀会の前日、オリンピック卓球男子団体で日本は銅メダルを獲得しました。試合後のエース張本選手がインタビューで「これで、やっと世界のスタートラインに立てました」との発言に驚きました。多くの選手がメダルを最終ゴールとして目指す中、スタートラインと言い放つところに、彼の現状に満足せず、さらなる高所を目指す姿勢に感銘を受けました。オリンピックのメダルとは比較にならないかもしれませんが、技術士資格取得も同じく、技術者としてのスタートラインに立つことだと思います。私自身も20年前に技術士資格取得した後、資格の責任の重さを痛感させられたのを思い出します。

技術士会の多様性

東京オリンピックのコンセプトに「多様性と調和」が掲げられ、開会式での男女共での旗手、180人以上のLGBTQの選手の参加等、男女平等、性の多様性を感じる大会でした。さて、技術士会の多様性って何だろうかと考えた時、まだまだ男女比や年齢構成等には偏りがありますが、技術士会の大きな特徴としては、多くの技術分野の部会等で構成されている点ではないかと祝賀会の各部会、登録グループの説明を聞いて感じました。多くの新人技術士は、既に各分野の学会や協会等に所属し、情報収集、人脈形成をされてきたと思いますが、技術士会では21の技術分野を横断的に自由に参加することが可能です。それにより、他分野の新たな知見やネットワークの形成、各人の新たなイノベーションが創造されるのではないのでしょうか。

技術士資格・技術士会の120%の活用

オリンピックの精神に「参加することに意義がある」という言葉をひと昔前はよく耳にしましたが、資格・技術士会も同様「資格は活用してこそ、技術士会も参加してこそ意義がある」と思います。技術士資格を武器に新たな仕事、領域へのチャレンジ、そして技術士会の活動への参加による技術の継続研鑽の充実、縦と横のネットワークの拡充・強化により、さらなる技術の高みを目指し、ひいては豊かな人生を送るための資格になればと思います。